



北久里浜秋まつりでの6年生ソーラン節
(根岸小学校)



久里浜商会ハロウィンフェスティバルでの吹奏楽部演奏
(久里浜中学校)

輝け! よこすかの 子どもたち



グループで協力し、共に考える美術の授業の様子
(浦賀中学校)



疑問をもち考える理科の授業の様子
(大塚台小学校)

心と体の健康に向けて

認め合い、高め合う心の育成

子どもたちが生きていくこれからの社会は、予測困難であり、社会の変化にいかに対応していくかが難しいといわれています。そのような状況の中で、変化を乗り越えて自立した人間として、他者と協働して未来を切り拓いていく力が求められています。

横須賀市立小中学校では、自分や他者を大切にすることを育てるとともに、他者と一緒に生き、課題を解決していく力の育成に取り組んでいます。

自分や他者を大切に 心を育てる道徳教育

道徳科授業の研究(道徳教育連携推進講座)
高坂小学校 11月21日(水)



児童たちが、お互いの考えを周囲で認め合いながら交流し合い、更に自分の考えを深めます。

心を育む道徳教育は、日常の様々な場面で大切です。そしてこの道徳教育の要として一層充実を図るべく、『特別の教科 道徳』が教科として、位置づけられました。本年度から小学校で、来年度からは中学校で教科化が実施されます。子どもたちが考え、議論することを通して、心の在り方、生き方について深く考え学びます。

高坂小学校では、いつでも皆が意識できるように、どの教室にも同じ言葉が掲示してあります。

道徳の教科化

従来の道徳の授業と
何が変わるの？

従来教科としては捉えられていなかった道徳が、教科化となり教科書や評価が導入されることになりました。これにより答えが一つではない課題を一人一人が、自分自身の問題として捉え、向き合うような「考え、議論する」道徳科への質的な転換が求められています。

他者と協働して課題を解決していく 学び合い

認め合い、高め合う力を育成する授業の研究
岩戸中学校 11月20日(火)



岩戸中学校では、「認め合い、高め合う力の育成」に取り組んでいます。授業の中で生徒同士が学び合い、互いに協力して課題を解決していく過程で、学びを深めていきます。

個々が力を発揮し、互いの良さを認め合うことで、集団としての充実と個々の成長を促します。先生方は、課題の設定や発問の工夫をしながら、生徒たちの学び合いを支えます。

課題に向かい、グループで協力し知恵を結集して考えます。

健やかな体の育成

健康を保持増進することや体力の向上を図ることは、子どもたちが生涯にわたってたくましく生きていくために必要不可欠であるといえます。子どもの発達の段階に応じて、健康の保持増進と体力の向上を図ると共に、子どもたちが自分で判断し、積極的に健康的な生活を実践することができるように学校教育全体を通じた指導の充実を図ります。

■ 体力をつけて健康な体をつくる

学ぶ楽しさと健やかな体の育成を目指す実践
野比東小学校 5年生 体育の授業



授業の途中で集合し、活動のめあての確認をし、達成するための手立てを皆で考えます。



野比東小学校では、「健やかな体の育成」を目指し、体育科の授業の研究に取り組んでいます。

学校栄養教諭や養護教諭も関わりながら、健康な体を育むための食や保健指導の充実も図っています。

5年生の体育の授業では、お互いに声を掛け合い、協力し合いながら、たくさん身体を動かす子どもたちの様子が伺えます。



休み時間も、外で元気に遊びます。

健康で過ごすために 食の大切さを学ぶ

おいしくいただき、食の大切さを学ぶ給食の時間
池上小学校 1年生 給食の時間



給食は、グループで机を向い合わせて、楽しくおいしくいただきます。1年生から配膳も片づけも皆で協力して行います。

学校栄養教諭が、食材の人参や大根を披露します。子どもたちは、農家の方が一生懸命育てた、葉のついたままの大根に興味津々の様子です。



おめでとうございます！

全国学校給食甲子園

横須賀市の学校給食は、全市立小学校で統一献立・共同購入方式ですが、年4回は学校独自の献立を実施しています。そのような池上小学校の自校献立給食が、12月9日に行われた全国学校給食甲子園において、「**女子栄養大学特別賞**」を受賞しました。三浦半島の食材をふんだんに使った栄養満点の献立で、**全国1,701校のエントリー校の中から、優勝・準優勝に次ぐ賞として選ばれました。**



池上小学校給食調理員の皆さん

子どもたちに豊かな学びを届けるために

学び続ける先生

先生方は日々様々な課題に対応しながら、教育活動を実施しています。学校には、幅広い年代層の先生方がいますが、学び続けるという意識は、誰にとっても重要なことです。

多様な機会をとらえて、先生方は学び続けています。

■ 初任者研修

本年度新たに先生になった初任者を対象に研修が行われています。これからの学校教育を担っていく先生方への期待は大きく、互いに学び成長するために、研修では様々なテーマや方法が設定されています。



子どもたちにいかに授業に興味を持たせるかについて、先輩の先生も交えたグループで話し合います。



4月から教壇に立ち、期待と不安でいっぱいの初任の先生方にとって研修の時間は、自分の教員としての学びを深められる時間です。また同じ悩みを持つ同期の仲間と共に学ぶ時間は、とても貴重です。

■ 研究授業を通して学び合う

先生方は、子どもたちの力を伸ばす魅力ある授業づくりのために、他の先生の授業の様子を参観し、それを基に考え、学び合います。

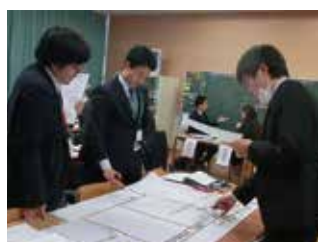
子どもたちに豊かな学びを届けるために、先生方も常に学び続けています。



子どもたちの様子を観察しながら、力を伸ばす授業改善について考えます。



全体会では、研究推進校の取組を情報共有します。



授業参観後は、授業の実態を基にしたグループ協議をします。

大塚台小学校 フロンティア研究 中間発表会
12月19日(水)の様子

学校のことをみんなで考えよう

教職員の働き方 改革

平成30年度

横須賀市 教育フォーラム

平成31年 1月 16日(水)

横須賀総合高等学校 SEAホール

「人間性豊かな子ども」を育成する質の高い学校教育を持続発展させていくために、
学校・家庭・地域の皆で学校教育の在り方を考える。

横須賀市が目指す「人間性豊かな子ども」の育成のために、学校と家庭・地域が現状の教育課題を共有し、その解決に向けて共に考える横須賀市教育フォーラムが実施されました。当日は、各市立学校の管理職、PTA役員の方、学校評議員の方など、総勢で200人を超える参加がありました。

本年度のテーマは、「教職員の働き方改革」についてでした。社会的にも問題視されている先生方の長時間勤務の実態は、横須賀市においても課題となっています。市立小中学校教職員への調査の結果、「過労死ライン」といわれる月80時間の超過勤務が想定される教職員が、小学校では3割以上で、中学校では6割以上いるという実態が、明らかになりました。これらの実態を踏まえ、先生方が心身ともに健康な状態で、現在の学校教育の質を維持し、発展させるためには、どうしたらよいのかということについて、参加者全員で考えました。

パネルディスカッションでは、登壇者がそれぞれの立場から、意見を述べつつも、まずは学校・家庭・地域が子どもの教育について、お互いに共通理解をした上で、協力し合うことが大切であるということを改めて確認しました。



パネルディスカッション (左奥から)

コーディネーター：妹尾 昌俊 氏
(文部科学省・学校業務改善アドバイザー)

登壇者：

櫻井 聡 氏	(横須賀市PTA協議会 会長)
佐藤 昌俊	校長 (常葉中学校)
菅原 和子	教頭 (豊島小学校)
碓谷 直人	教諭 (公郷中学校)



妹尾 昌俊 氏からのメッセージ

‘子どものためであれば、どんな長時間勤務も良しとする’という働き方により、教師が疲弊していくのであれば、それは‘子どものため’にはなりません。

学校が保護者・地域と協力してできることとして、まずは現状を伝え、お互いに現実を理解しましょう。行事や部活動は「何のために実施するのか?」を見つめ直しましょう。限られたエネルギーと時間をどう活用するのか、共に考えていくことが大切です。

輝く!よこすかの子どもたち

第8回 横須賀市児童生徒ふれあい作品展

平成30年11月30日(金)～12月4日(火)
横須賀市文化会館 3階・第1ギャラリー

特別支援教育や障害のある児童生徒についての理解を広めるために、市立小中学校特別支援学級や、ろう学校・養護学校、療育施設等に在籍する児童生徒の作品展が実施されました。



また会期中の12月2日(日)には、同会場1階展示室において、『横須賀市児童生徒ふれあいフェスタ』として、発達障害教育に関するワークショップや、横須賀総合高校の障害への理解に関する取組を紹介する展示などが行われました。

工夫が凝らされた各学校等の展示はどれも魅力にあふれ、楽しみながら一生懸命に制作に打ち込んだであろう児童生徒の思いが伝わってくるものでした。

第29回 読書感想画展

平成31年1月5日(土)～1月8日(火)
横須賀市文化会館 3階・第1ギャラリー



読書感想画展は、読書による感動を絵画表現することで、児童生徒の読書力、表現力を養うとともに、読書の推進を図ることを目的とした作品展です。

会場一面に、市立小中学校の児童生徒の見ごたえのある作品が、約650点掲示されました。

児童生徒書写作品展

平成31年1月18日(金)～1月22日(火)
横須賀市文化会館 3階・第1ギャラリー

市立小中学校における国語「書写」の授業等で取り組んだ書写作品及び、横須賀総合高校の書道作品の作品展が開催されました。

しなやかに美しい線で表現された作品からは、書き初めの季節らしい、心が引き締まるような、清々しい思いが伝わってきました。



第71回 横須賀市児童生徒造形作品展

平成31年1月12日(土)～1月28日(月)

横須賀美術館 1階



楽しい雰囲気の
幼稚園児の作品

独自の表現
世界の追求
と、確かな技
術が光る高
校生の作品



横須賀美術館を会場に、市立幼稚園から高等学校まで全74校が、日頃の図工や美術の授業で取り組んだ成果を発表する作品展です。展示作品は、作者の思いや工夫が、たくさん伝わってくるものでした。幼稚園から高等学校までのそれぞれの世代でしか表現し得ない、独特の世界の素晴らしさを感じることのできる作品展でした。

横須賀総合高等学校

横須賀市を盛り上げるために
頑張っています!

「スカジャン割」4コマ漫画横断幕

横須賀市発祥のスカジャンを着ていくだけで、お得なサービスが受けられるキャンペーン『スカジャン割』(2018年11月3日～2019年3月31日)プロモーション横断幕として、横須賀総合高校の漫画・イラスト部の生徒の6作品が採用され、Yデッキに掲示されています(2019年3月29日まで)。制作では、4コマという限られた中での表現の難しさ等の苦労があったようです。



横須賀総合高校漫画・イラスト部の活動の様子



「日本遺産&スカジャン」撮影会

平成31年1月19日(土)

撮影した写真で横須賀市のPRを行うための「日本遺産&スカジャン」撮影会に、横須賀総合高校写真部が参加しました。



撮影会でスカジャンを着用する
横須賀総合高校 写真部の皆さん

横須賀版キッズウィークを終えて



報告

本年度初めての取組として、10月20日(土)から11月4日(日)にかけて、横須賀版キッズウィークを実施しました。この取組は大人が子どもと向き合う時間を意識し、地域社会皆で子どもの豊かな成長を応援するという趣旨で、この期間中市内では、従来からあるイベントも含め、親子や子どもが楽しめるような企画がたくさんありました。



『一日警察署長として頑張ります。』
(北久里浜秋まつり・浦賀交通安全の集い)



上町商店街

商店街のハロウィンイベントでは、工夫を凝らした仮装で、楽しく参加する子どもの姿がありました。ほほえましい姿に街にもにぎわいます。

青少年会館での『親子手作り体験』では、保護者の方がブースごとのワークショップを体験中に、子どもも様々な遊びの体験を楽しんでいました。



ドブ板通り商店街



県立保健福祉大学での『わんぱくフェスティバル』では、子どもが楽しめるブースが用意され、生き生きと参加する子どもの姿が見られました。



衣笠商店街

以下は広告スペースです。市の収入の一部に当てるため広告を掲載しています。内容については広告内の連絡先にお問合せください。

《編集・発行責任者》

横須賀市教育委員会事務局

教育総務部 教育政策課

〒238-8550 横須賀市小川町11番地

TEL: 046-822-9709

FAX: 046-822-6849

E-mail: sc-real@city.yokosuka.kanagawa.jp

◇この冊子についてのご意見やご感想をお寄せください。

